

武蔵野ごみ ニュース

～ごみ減量情報紙～

平成27年9月15日

vol.15

発行 武蔵野市環境部ごみ総合対策課
住所 〒180-0012 武蔵野市緑町3-1-5武蔵野クリーンセンター内
電話 0422-60-1802
E-mail sec-gomitaisaku@city.musashino.lg.jp
ホームページ http://www.city.musashino.lg.jp/

一般廃棄物処理基本計画（平成27～36年度）が まとまりました。

市では「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」に基づき、ごみの発生抑制・減量・資源化に取り組んでいます。皆さんの努力により、市民1人1日当たりのごみ排出量は、順調に減ってきています。社会経済状況等の変化や新クリーンセンター（仮称）の稼働を見据え、前計画期間（平成29年度まで）を前倒し、27年度を初年度とする10年間の計画を策定しました。市民・事業者・行政が連携し、資源循環型社会の実現を目指しましょう。



基本
理念

環境負荷の少ない省エネルギー・省資源型の持続可能な都市を目指す。

基本
方針

市民・市民団体・事業者・行政の連携の再構築

※市役所市政資料コーナー、ごみ総合対策課、各図書館等で閲覧できます。

むさしの環境フェスタで 使用済み小型家電の 実験回収を行います

ごみ減量と、
資源の有効利用のために
ご協力をお願いします。

日時 11月1日(日)
10:30~15:00

回収場所 境南ふれあい広場公園（武蔵野プレイス前）

○回収できるもの

●家庭で使用していた小型家電製品

(例) 携帯電話 (PHS端末含む)、スマートフォン、タブレット型情報通信端末、デジタルカメラ、フィルムカメラ、ビデオカメラ、ゲーム機 (携帯型・据置型)、デジタル等携帯音楽プレーヤー (CD・MDプレーヤー含む)、携帯型映像用機器 (DVD/BDプレーヤー・カーナビ・テレビ)、電子辞書、携帯用ラジオ、外付け記憶装置 (HDD・USBメモリ・メモリーカード)、ICレコーダ、電卓、機器付属部品 (リモコン・ACアダプター・ケーブル・充電器) など



×回収できないもの

●家電リサイクル法対象商品

(エアコン・テレビ・冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・衣類乾燥機)

●パソコン (デスクトップ型・ノート型)

●事業で使用していた家電製品

●粗大ごみで回収している家電製品

注意事項

- 携帯電話等の個人情報は、必ず消去してお持ちください。
- 乾電池や蛍光灯は、取り外して有害ごみとして通常の収集にお出しください。
- 車でのご来場はご遠慮ください。自転車でご来場の際は、近隣の駐輪場をご利用ください。武蔵野プレイスの駐輪場はご利用になれません。

武蔵野市の資源ごみはどう生まれ変わるの? Part2

～リサイクル工場（中間処理施設）は今日もフル稼働～

前号で予告したとおり今回も武蔵野クリーンセンターでは処理できない「資源ごみ」がどのように処理されていくかを写真を交えて紹介します。家庭・事業所から出された「資源ごみ」古紙・古着は、収集品目が多いため2社の委託収集業者で収集を行っています。中間処理施設では、選別・加工が行われ、初めて「資源」として活用できるようになります。枝木・草葉も同じように、中間処理が行われリサイクルされます。

家庭・事業所*

*事業系ごみ袋(資源物用)に入れられたものに限る。

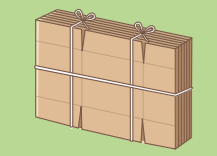
古紙



新聞紙・チラシ



ざつがみ・雑誌 古本・ノート類



ダンボール



シュレッダー紙

古着



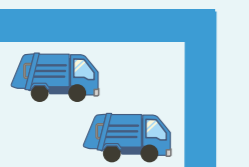
濡れたままの古着や雨の日に収集されたものは資源にはならず、「燃やすごみ」になってしまいます。ぜひ、洗濯・乾燥させ、晴れた日の収集日にお出してください。

車で仕分ける委託収集業者は3台1組となり古紙・古着を収集時に仕分けし、直接中間処理施設へ運ぶ。



平成26年度 年間
新聞紙 874t
ざつがみ 3818t
ダンボール 1271t
古着 269t
※シュレッダー紙はざつがみに含む

車で自社に持ち帰る委託収集業者は2台1組となり古紙・古着を収集し、自社で仕分ける。



市外の間処理施設

仕分けされた新聞紙、ダンボール、シュレッダー紙、ざつがみ・雑誌・古本・ノート類を大きな機械で種類ごとに圧縮プレス化する。

1日最大80tの処理が可能



ダンボール



ざつがみ・雑誌・古本・ノート類



ベルトコンベアに乗せ圧縮プレス化する。



新聞紙・チラシ



シュレッダー紙



古着を積み替える

中間処理施設へ運ばれる。

収集事業者の積み替え場所



ダンボールとざつがみなど混在したものは一度降ろして広げ、作業員が仕分ける。



ダンボールのみを積み込む。

ざつがみのみを積み込む。



古着は収集車の上に載せている。



コンテナに積み替え中間処理施設へ



仕分けの際に混在していた異物(資源化に不適物なもの)は「燃やすごみ」として武蔵野クリーンセンターへ運び焼却する。

再商品化製品へ

圧縮プレス化したものの重さはそれぞれ約1tにもなる



新聞紙・チラシを圧縮プレス化したもの



ざつがみ等を圧縮プレス化したもの



ダンボールを圧縮プレス化したもの



シュレッダー紙を圧縮プレス化したもの



古着



おもに新聞紙・チラシなど



おもにお菓子の箱・食品の箱など



おもにダンボール・ラップの芯など



おもにトイレトーパーなど

- ・海外へ 6割
おもに東南アジアへ
- ・ぞうきん 1割
おもに工業用
- ・はんもう 1割
おもに車のシートの中にある綿
- ・焼却 2割
不適物

※古紙を分別するにあたってのお願い!

昇華転写紙(なっせん紙・アイロンプリント紙)と香りが付いた紙箱(洗剤の紙箱など)は資源になりません。
・昇華転写紙の特徴は、文字が左右反転していることです。

※絶対に古紙として出さないでください。

昇華転写紙



昇華性インクで印刷された転写紙は、カバンや靴などの詰物(緩衝材)として使用されます。古紙に混入すると、再生した紙に斑点が発生するトラブルになります。

写真 公益財団法人古紙再生促進センター提供

香りの付いた紙箱



においの付いた紙、おもに洗剤の箱などが古紙に混入すると、食品用の箱として再生した紙に、においが付いてしまいトラブルになります。

家庭から出される枝木・草葉

家庭で剪定した枝木・草葉は燃やすごみの日に出すと資源化されず、クリーンセンターで焼却処理されます。4束(袋)以上ためて事前予約(予約をした翌週の水曜日に回収)いただければ、下記の流れで中間処理施設を経由して資源化されます。ぜひみなさまのご協力をお願いいたします。

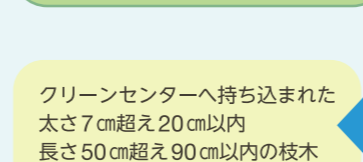


※枝木は、太さ7cm以内、長さ50cm以内に切り、直径50cm以内の大きさに束ねる。ただし、太さ7cmを超え20cm以内、長さ50cmを超え90cm以内に切り、直径50cm以内の束のものは、直接クリーンセンターへ持ち込み可能。
※草葉は、45ℓ以下の透明または半透明の袋に入れる。
※草や葉に付いた土やごみは、取り除く。



毎週水曜日に収集した枝木・草葉の量
平成26年度 164t
直接クリーンセンターへ持ち込まれた量
平成26年度 79t

一回の収集につき4束(袋)以上、束袋合わせて50個まで



市立小・中学校で剪定した枝木・草葉も資源化されています。
平成26年度 94t



クリーンセンターへ持ち込まれた太さ7cmを超え20cm以内、長さ50cmを超え90cm以内の枝木

ウッドチップにしたもの(木質系バイオマス燃料)をトラックに載せ群馬県吾妻郡にあるバイオマス発電所へ

搬入台数は1日 50~60台
搬入比率は、他社等からのものも含め
建築廃木材:生木=4:6



燃やした熱で電気を作り、気象状況に左右されず、安定した電力を発電する。(バイオマス発電*)
燃焼量は400t/日
煙突の高さは80m

発電した電気は電力会社などに送電される。(送電量28万kWh/日、所内使用量2000kWh)

※バイオマス発電とは
バイオマスとは、化石資源を除く、再生可能な生物由来の有機性資源のことを言います。これらのうち、木材由来のものは木質系バイオマスと呼ばれ、環境に優しい燃料として注目を集めています。
廃棄物系などを燃料にして水を熱し、水蒸気でタービンを回して発電する仕組みです。発電方法は火力発電と一緒にですが、燃料に違いがあります。

西東京市にある造園業者へ運び破砕する。



枝木・草葉を降ろし破砕する。



保管スペースに屋根が新設され、枝木・草葉を湿らさずに大きいトラック(10t車)への積み替え作業効率がアップ

群馬県渋川市にあるチップ製造業者に運ばれる。



大型木材粉砕機で破砕し用途に合わせて粗さの異なるウッドチップを製成する。その際に発生する熱で水分が蒸発し、白煙が立ちのぼる。



目が細かいスクリーン



目が粗いスクリーン
ウッドチップの大きさによって替える。



木材粉砕場に枝木・草葉を搬入。搬入比率は他市等からのものも含め
建築廃木材:生木=1:3
搬入量は10t×4台=40t/日



家畜の敷料用

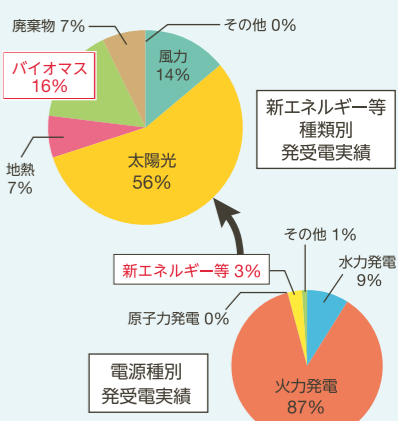


コンポスト、堆肥有機肥料用



農業用堆肥(肥料)を製造
牧場で牛の糞尿と混ぜ合わせ、良品質の堆肥を製造
公園・広場・花壇用の敷材

平成26年度の種別別発電実績



10月1日
10月31日

環境にやさしい マイバッグキャンペーン



武蔵野市では、10月に3R推進月間（リデュース・リユース・リサイクル推進月間）として、今年も環境にやさしいマイバッグキャンペーンを市とレジ袋削減協定を締結している市内スーパーで行います。その他、レジ袋削減協力店となっているコンビニエンスストアでも、マイバッグ持参を呼びかけたスタンドポップの掲示を行います。

一人ひとりの取り組みがごみ減量、環境負荷の低減につながります。この機会にぜひ、日々のライフスタイルを見直し、まずは買い物にマイバッグを持参することから始めてみましょう！



協力企業一覧

商店会連合会・スーパーマーケット
コンビニエンスストアなど

アトレ イトーヨーカ堂 エコス 紀ノ国屋 京王ストア コープみらい サミット ダイエー 東急ストア
ビッグ・エー ライフコーポレーション コミュニティ・ストア サンクス スリーエフ セブン-イレブン
ファミリーマート ミニストップ ローソン
武蔵野市商店会連合会 吉祥寺活性化協議会 小田急バス 関東バス JR東日本

平成 29 年 4 月稼働予定「新武蔵野クリーンセンター（仮称）」建設事業の今をお知らせ！

新クリーンセンターニュース VOL.2



武蔵野クリーンセンターは市内唯一のごみ処理施設です。みなさまのご家庭などから出される燃やすごみ、燃やさないごみ、粗大ごみ、有害ごみが搬入され、中間処理をしています。現在のクリーンセンターは稼働から約30年が経過しており、機械の耐用年数などの状況から、周辺住民の方々のご理解とご協力をいただき、現施設の東隣に平成29年4月稼働を目指して、新クリーンセンターの建設を進めています。

工事現場の風景



工事現場全景（武蔵野市役所屋上より撮影）

平成27年度から地上の工事がスタートしています。段々と建物の形が見えてきました。7月からは建築の工事に合わせて、工場の機械の設置工事も始まっています。

プラットフォームに屋根ができました



地下1階プラットフォームの様子

地上部の建物をコンパクトに見せるため、プラットフォーム（ごみ収集車がごみをおろす空間）を地下に設けています。プラットフォームは大空間を支えるため、鉄骨造となっており、鉄骨の柱、梁、屋根が組み立てられました。

焼却炉の組み立てがはじまりました



焼却炉地下部分の組み立ての様子

焼却炉はボイラーなどの関連機械と合わせると高さが約20mあり、地下2階から地上3階まで吹き抜けた大空間に設置します。現在、焼却炉地下部分の組み立てを行っています。

不燃・粗大ごみ破砕機を設置しました



破砕機設置の様子

不燃ごみや粗大ごみは、機械で細かく砕いて、分別し、リサイクルや焼却を行っています。7月には、このごみを細かく砕くための機械「不燃・粗大ごみ破砕機」を設置しました。



工事のこれから・・・今年には地上部分の建物をつくりながら、機械の設置工事を進めていきます。来年の秋には建物が完成し、新施設の試運転に入る予定です。今年度も市民の方を対象とした工事現場見学会を開催する予定です。ぜひお越しください！